

学芸員が語る 「須恵町のお盆行事」

お盆とは

お盆とは、祖先の霊を祀るために旧暦の7月15日、現在の8月15日ごろに行われる行事で、古来から日本に伝わる祖霊信仰と仏教が融合したものです。

須恵町のお盆行事

須恵区と新原区は、蔓を芯にして編んだ綱を用いる伝統行事、「盆綱」を毎年8月15日に実施します。

須恵区の盆綱は、8月上旬に宝満宮の境内で綱を編みます。綱は、川辺に生える「コモ」を材料に用いるのが特徴です。

「コモ」は、筑紫野市の宝満川まで取りに行くこともあります。宝満山の荘園の最北端に宝満宮が建てられたことと、盆綱に宝満川のコモを用いることに、何かの縁を感じずにはいられません。そのようにして作られた綱は、とぐろを巻いた状態で相撲場の土俵の上に置かれます。その姿は、まるで睨みを利かせた龍のようです。当日は、子供たちが綱を持って、須恵区内を巡ります。この際、綱はご先祖様が極楽浄土へ戻る「乗り物」になります。区内を巡った盆綱は、最後に綱引きをして切られます。昔はその後、須恵川に流していたそうです。

新原区の盆綱は8月15日早朝に作ります。青年団と地元有志が地藏堂拝殿で蔓を芯にしてワラとカヤで綱を作り、須恵区と同様に、とぐろを巻いた形で拝殿に安置します。そして、夕方に公民館前で綱引きを行います。大人と子どもの勝負を3回行い、必ず子どもが勝ちます。最後に綱が切れ、その切れ目からご先祖様が極楽浄土に戻ると言い伝えられています。



須恵区の盆綱



新原区の盆綱

お盆にまつわる言い伝え

お盆に水遊びをしてはいけない

このような言い伝えを聞いたことがありませんか？川や海は、ご先祖様があの世へ帰っていくための道と考えられていたため、お盆の時期は水辺に近づかないように言われていたのでしょう。

お供え物の集積所の謎

広報7月号折り込みの「環境だより」にお盆用品(お供え物)の集積場所の地図がありました。この地図は、須恵川が中央に描かれ、集積場所11か所のうち8か所が川沿いの場所となっています。

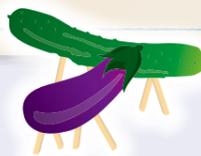
これは、「精霊流し」の名残と思われます。精霊流しは、盆の間この世に戻ってきた死者の霊を無事にあの世へ送り届ける行事で、お盆のお供え物を精霊船に乗せて海や川に流します。長崎の精霊流しが特に有名です。須恵町でもかつて、盆綱と同様に須恵川に流していたので、現在もその名残で川沿いに集積します。

須恵町のお盆行事の特色

須恵町のお盆行事の特色は、子どもが参加していることです。地域の安全・安心への願いは、子どもたちによってこれからも受け継がれていくことでしょう。

今回紹介したお盆行事などの
地域のお祭りは、
須恵町ホームページから
ご覧になれます。

- ①須恵町ホームページトップ画面
右側「須恵町について」中の
「町の文化財・史跡」をクリック。
- ②「文化財」ページ中の「須恵町の
地域が守ってきた歴史や文化を
映像で紹介します」をクリック。
- ③「須恵町の民俗文化シリーズ」で
各地区のお祭り動画がご覧にな
れます。



CONTENTS SUE Vol.589

広報すえ 2016年8月号 目次

- 2 …… 久我記念館
- 3 …… 学芸員が語る「須恵町のお盆行事」
- 4 …… まちの話題 つくしんほ救命講習会、消防操法大会 他
- 6 …… 参議院議員通常選挙 投・開票結果
- 7 …… マイナンバーカードを作りませんか？
- 8 …… 後期高齢者医療制度のお知らせ
- 9 …… 献血にご協力ください、指定避難所のご案内
- 10 …… 須恵町国民健康保険からのお知らせ
- 11 …… 子ども教育課からのお知らせ
- 12 …… 役場からのインフォメーション
- 14 …… わくわくデイサロン、俳句・川柳
- 15 …… 警察署だより、119、商工会だより
- 16 …… 情報いろいろ
- 18 …… 図書館だより
- 19 …… ハッピーバースデー、保育士募集、乳幼児健診・妊婦教室カレンダー
- 20 …… まちの情報カレンダー 休日当番医、水道指定当番、プレミアム商品券 他
- 22 …… アートフェスタ、前期芸文祭、アザレアホール予定表

COVER

表紙の写真/こころを贈る 震災支援



6月14日(火)、須恵第三小学校の6年生が、熊本地震で被災した南阿蘇村の小学校に送る鉛筆の封入を行いました。

4月の総合学習で熊本地震について学んだ6年生が、自分たちができることは何かを考えて、校内で募金を行い、集まった4万円で850本の鉛筆を購入して南阿蘇村に送りました。

鉛筆を入れる封筒には、須恵第三小学校全児童が、南阿蘇村の児童に向けてイラストやメッセージを書きました。鉛筆と一緒に、児童たちのあたたかい気持ちも南阿蘇村に届いたことでしょう。

美術センター

久我記念館

☎932-4987

企画展のご案内

月曜休館 祝日の場合は翌日休館

開館時間：10時～17時

入館無料

久我記念館コレクション展

8月20日(土)～9月4日(日)

久我記念館の収蔵作品の大きな柱として、糟屋地区在住の作家の作品、江戸時代から明治にかけて上須恵で焼かれた須恵焼があります。(収蔵作品数 絵画作品約400点、陶磁器約350点)

今回、これらのコレクションのうち、名品を紹介する展覧会を開催します。合わせて、歴史民俗資料館が所蔵する東出コレクションの「櫛」「簪」「笄」も展示します。

